ハンドマイク街頭演説原稿例　今こそチェンジ！　「自民党政治」

二〇二四年九月三日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、岸田総理は八月十四日に記者会見し、次の自民党総裁選挙に出ないと述べ、事実上の退陣を表明しました。日本共産党の「しんぶん赤旗」がスクープした自民党の裏金事件で国民の怒りが大きく燃え上がり、追い詰められた結果です。そして自民党総裁・総理大臣の交代が確実になったことで、いつ衆議院の解散・総選挙が起こってもおかしくない状況になりました。日本共産党は、国民の切実な願いにそっぽを向いてきた自民党政治を今こそ終わらせるため、全力でがんばる決意です。日本共産党へのご支持、ご支援をよろしくお願いいたします。

　岸田総理の退陣表明を受け、自民党の総裁選挙にいろいろな方が立候補を表明したり、立候補のための準備をしたりしています。連日マスコミでこまごまと報道されているので、ごぞんじの方も多いと思います。しかしながらみなさん、新しい総裁が選ばれ、その方が総理大臣になることで、政治は変わるのでしょうか。名乗りをあげておられる方々は安倍内閣や菅内閣、今の岸田内閣で大臣や自民党幹部をつとめた方ばかりです。そしてどの方も、裏金事件をはじめとする自民党政治をめぐる問題に対して、小手先の対応しか示していません。これでは、どなたが総裁、総理になっても、変わることは期待できないのではないでしょうか。

　裏金事件で言えば、多くの国民が望んでいるのは、誰が、いつ、何の目的で、どのように裏金づくりを始めたか、裏金が違法に使われているのではないか、これらの疑問を含めて真相を明らかにし、厳正な処分を行うことではないでしょうか。そしてこの政治腐敗をおおもとからただしていくには、ワイロの性格が強くなる企業や業界団体からの政治献金を完全に禁止することが、どうしても必要です。しかしこのことに触れている方は、どなたもおられません。自民党総裁選挙のお祭り騒ぎのなかで、裏金事件をうやむやに終わらせるわけにはいきません。

　みなさん、財界・大企業とアメリカの顔色ばかりを見て、国民の姿を見ない自民党政治を根本から変えるため、日本共産党はこれまでもさまざまな提案をしてきました。暮らしを支え、中小企業の営業を立て直して、実体経済を再生するための「経済再生プラン」、日本を含む東アジア地域の平和をめざす外交政策の提言、「気候危機打開２０３０戦略」やジェンダー平等を進めるための政策などがあります。興味を持たれた方は、日本共産党のホームページなどで公開していますので、ぜひご覧ください。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）